

懇談会の主な検討テーマ（案）

1 釧路湿原の自然再生をめぐるコミュニケーションのあり方は？

- 自然再生の意義や必要性についての理解と支持をどのように拡大していくか？
- 発信すべき情報の内容・対象・手法は？
- 地域内外から期待する情報・反応は何か？
- 来訪者の特性に応じたアプローチは？

2 釧路湿原の自然再生をどのように環境教育に活用していくか？

- 自然再生をどのように環境教育に活用していくか？
- 自然再生を活かした環境教育でどのような成果を期待するか？
- 学校教育との連携をどう図っていくか？

3 釧路湿原の自然再生への市民参加のあり方は？

- 地域からの参加の動機づけ・きっかけづくりの方策は？
- 地域外からの参加の動機づけ・きっかけづくりの方策は？
- 必要となる条件や支援方策は？
- 各主体に期待される役割と主体間及び地域間の連携のあり方は？

4 これらを進めるための「場」として何が必要か？

- 自然再生の情報発信や市民参加の拡大のための「場」づくりをどのように行っていくか？
- 既存のビジターセンターや公共施設との役割分担をどう考えるか？

●懇談会のアウトプットのイメージ

釧路湿原の保全における市民参加や環境教育のレビューと課題の整理

国内外の保全・再生プロジェクトにおける市民参加や環境教育の先進事例

自然再生をめぐる地域内外とのコミュニケーションのあり方

自然再生を活かした環境教育の可能性

自然再生への市民参加・連携のあり方

以上を進めるための「場」の提案 - 自然再生センター構想

<参考> 検討の流れ

【背景・前提】

- 自然再生事業の 基本方針
 - 自然環境（湿地等）の保全修復
 - 農地農業との両立（農地保全・生活環境確保等）
 - 地域づくり（国立公園利用・観光利用等）
- 自然再生事業の基本的考え方（特徴）
 - パイロット事業・コアバッファ
 - 各省等連携・市民参加・情報公開
 - データに基づく丁寧な事業
 - モニタリング、順応的管理

【現状把握】

- 環境保全活動 への市民参加の状況
- 環境教育活動の状況
- 課題の整理

【参照すべき先進事例の調査】

- 既存の資料・報告等の調査
- 内外の先進事例調査

【個別テーマごとの検討（懇談会）】

<第2回>

- 自然再生を めぐるコミュニケーションのあり方
 - 情報発信の主体・仕組み
 - 内外とのコミュニケーション方策
- 自然再生の環境教育への活用
 - 方策と期待する成果
 - 学校教育との連携

<第3回>

- 市民参加の 可能性とあり方の検討
 - 参加の動機づけと支援方策
 - 各主体の役割と各主体間・地域間の連携のあり方

<第3～4回>

- これらの活動の 「場」についての検討
 - 「場」のあり方
 - 他の施設との役割分担

（必要に応じて関係者等からヒアリング）

【アウトプット（報告書）】

釧路湿原の保全における市民参加や環境教育のレビューと課題の整理
国内外の保全・再生プロジェクトにおける市民参加や環境教育の先進事例
自然再生をめぐる地域内外とのコミュニケーションのあり方
自然再生を活かした環境教育の可能性
自然再生への市民参加・連携のあり方
以上を進めるための「場」の提案ー自然再生センター構想